

日通グループ経営計画 2012

— 新たなる成長へ —

日本通運株式会社
代表取締役社長
川合 正矩

2010年3月30日

はじめに

経済環境と貨物輸送見通し

□ 経済環境予測(2010年)

- ▶ 日本
内需の盛り上がりによる自律的回復の高まりは期待しづらく、デフレ色の強い状況が続く
- ▶ 欧米
厳しい景気後退局面から脱しつつあるものの、低調な推移が予想される
- ▶ アジア(中国)
内需拡大により、輸出の伸びが高まる展開が見込まれる

□ 貨物輸送見通し(2010年)

- ▶ 国内
内需による回復が見込めない中、11年連続のマイナスとなる
- ▶ 国際
輸出はピーク時(航空:2006年、海運:2007年)の水準近くに回復、輸入も増加基調

新経営計画について

新たな成長へ

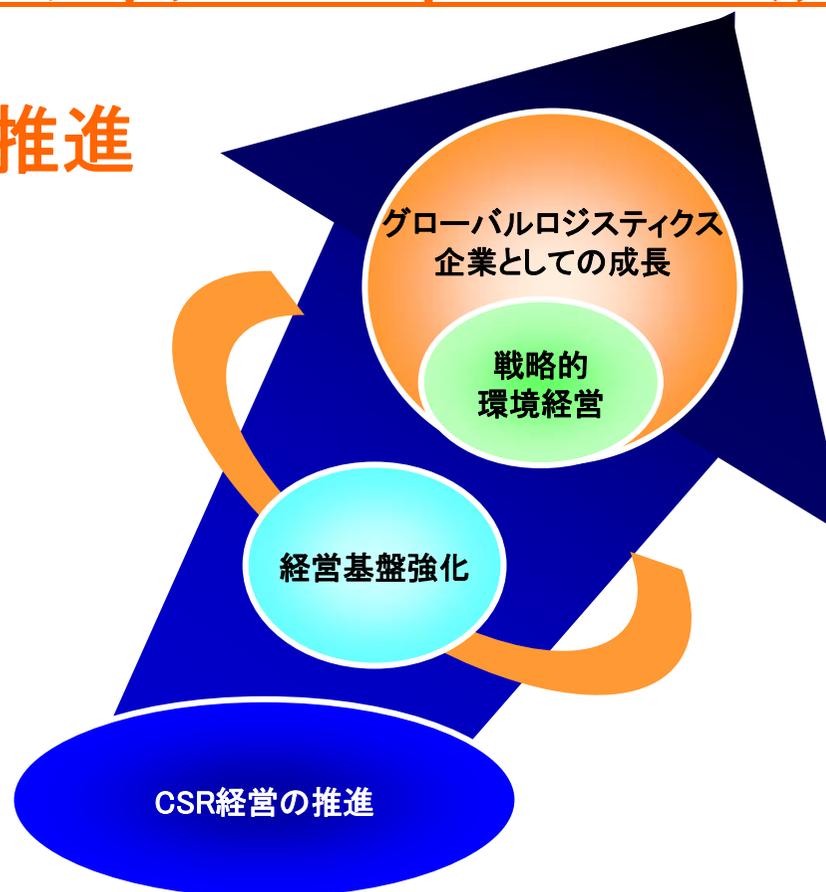
経営基盤強化から、成長に力点を置き、
新たな日通グループの経営をスタートさせるべく3年間の経営計画を策定



新経営計画 基本戦略

「グローバルロジスティクス企業としての成長」を成長戦略の柱と位置付け、
グループ一体となって4つの基本戦略を遂行する

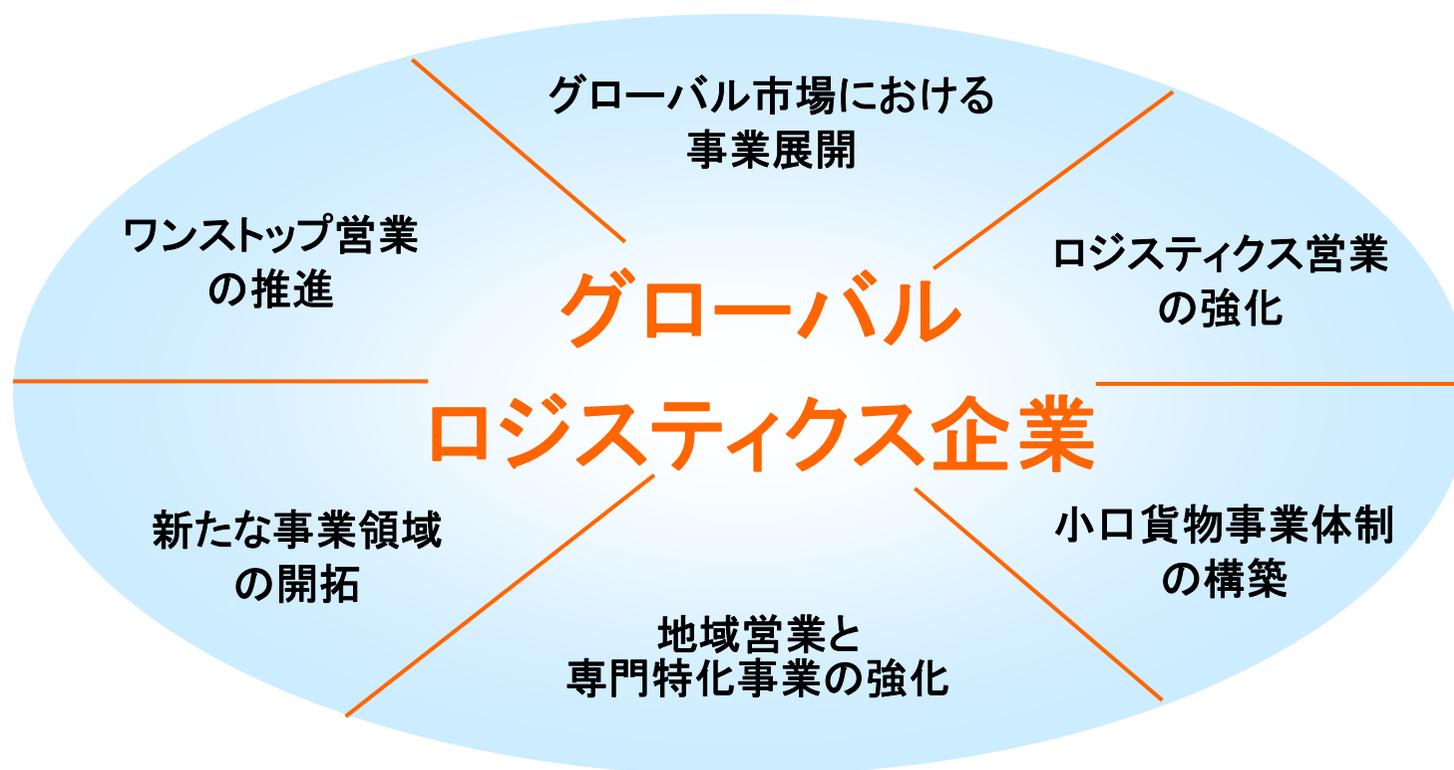
- グローバルロジスティクス企業としての成長
- 戦略的環境経営の推進
- 経営基盤の強化
- CSR経営の推進



基本戦略における重点施策

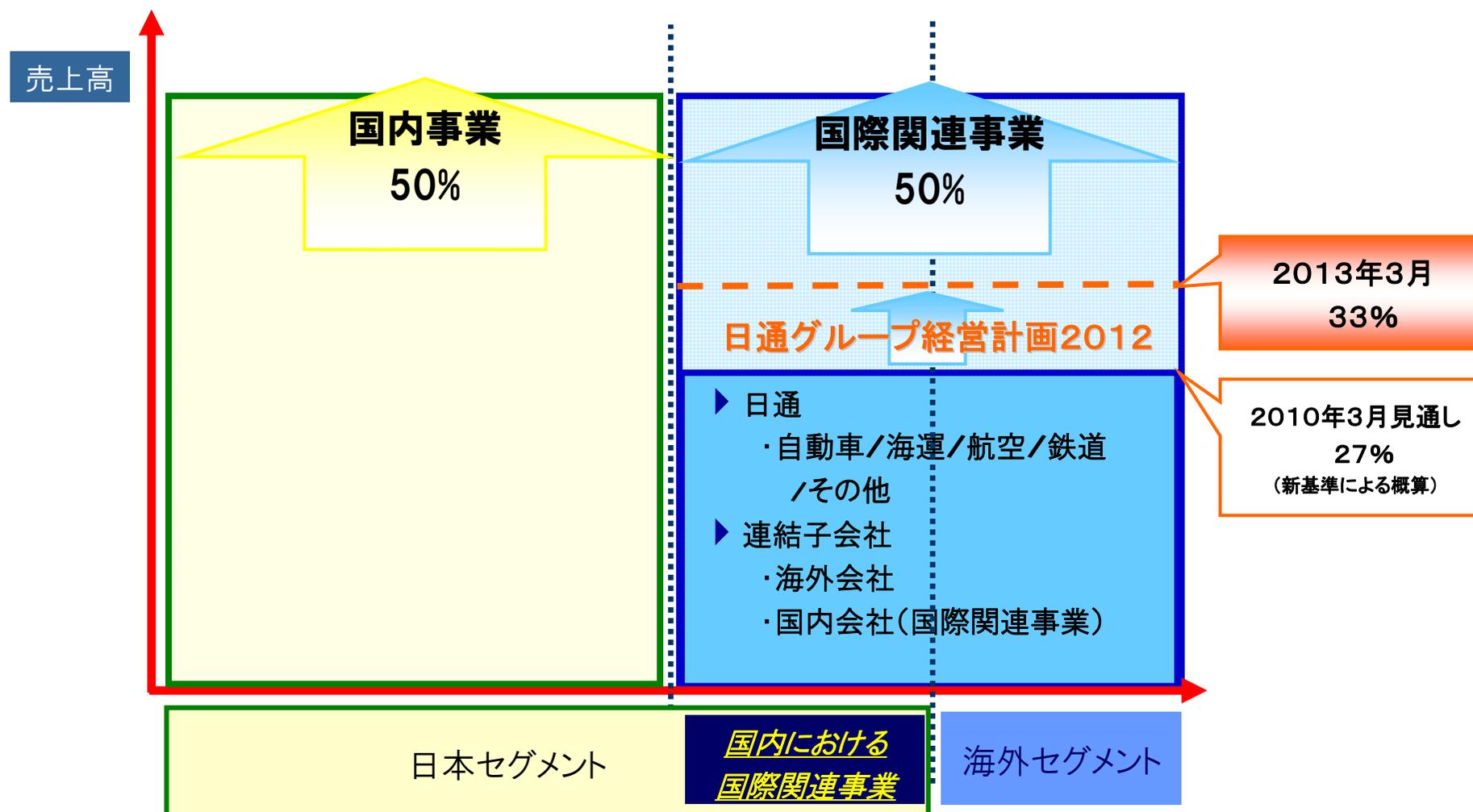
グローバルロジスティクス企業としての成長

軸足をよりグローバル市場に置き、更なる成長を実現する



グローバルロジスティクス企業としての成長

グループ全体の国際関連事業において売上高比率50%を目指す



グローバルロジスティクス企業としての成長

グローバル市場におけるアクションプランとして、
各地域の特性に応じた事業戦略を推進する



グローバルロジスティクス企業としての成長

成長する領域に特化した商品の開発と事業化によって、
 新たな事業領域の開拓を行う

医療・医薬

- ▶ 院外物流一元管理
- ▶ 院内保管・配送
- ▶ 業務アウトソーシング

新エネルギー

- ▶ 太陽光発電パネル設置
- ▶ 排出権取引・売電サポート
- ▶ 燃料の運搬・貯蔵

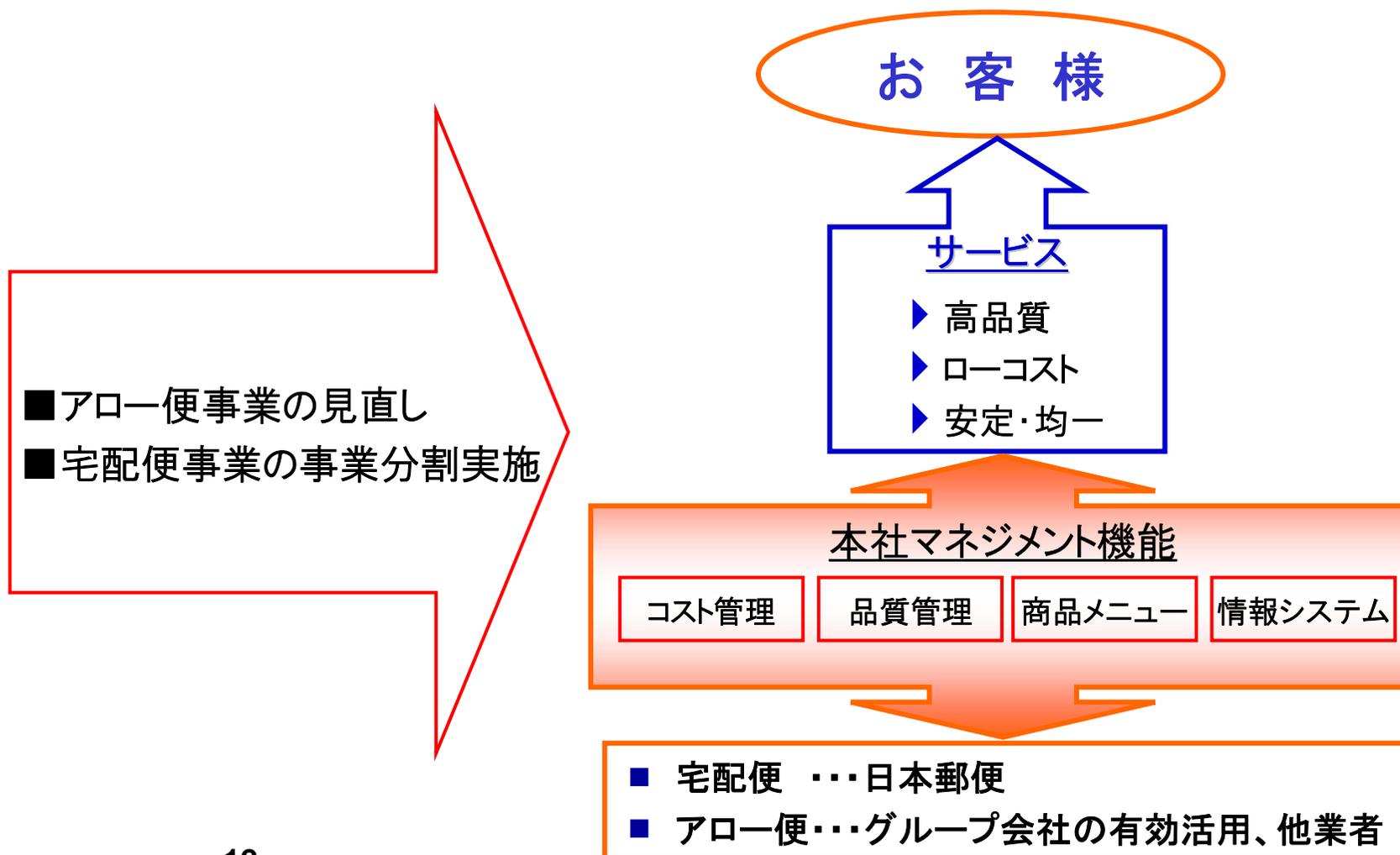
新事業領域を開拓する商品企画・開発機能の確立
 物流との相乗効果が発揮できる新領域での商品開発

- ▶ 施設サービス(図書館他)
- ▶ 学校・教育関連物流
- ▶ 官公庁業務アウトソーシング

公共サービス

グローバルロジスティクス企業としての成長

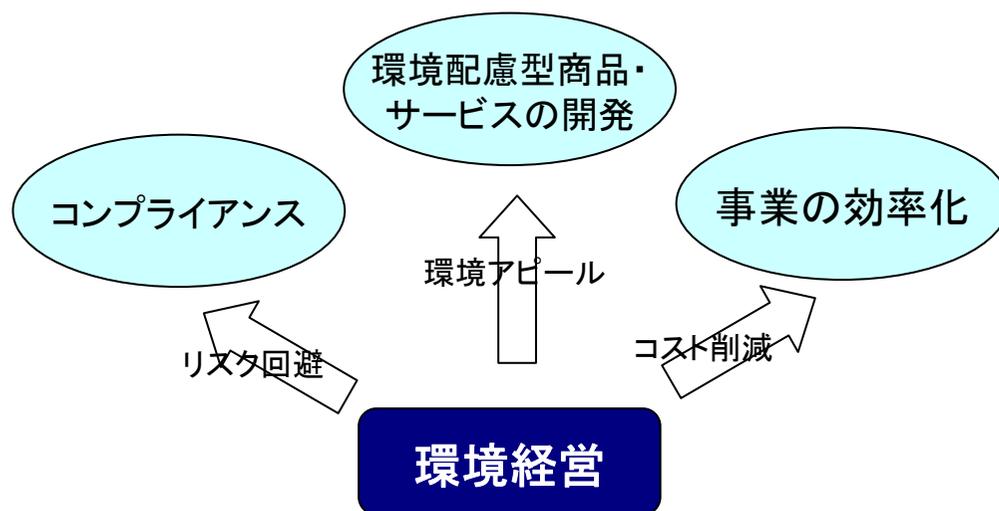
利用運送による小口貨物事業体制の構築に向け、本社マネジメント機能を強化する



戦略的環境経営の推進

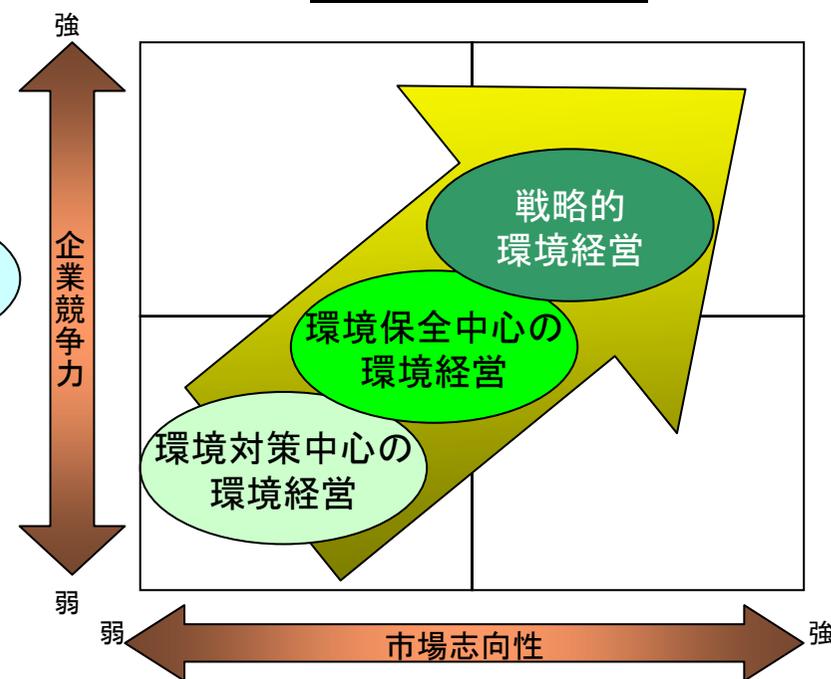
環境への取組みを競争力の強化に繋げる

事業環境の変化と環境経営



出典：日通総研「社員の環境意識向上を目的とした制度事例の収集および分析」

環境経営の進化

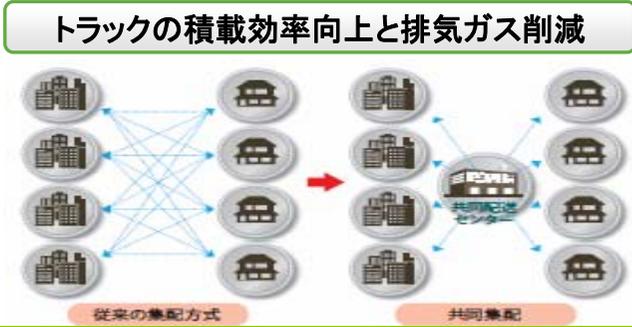


出典：「企業における戦略的環境マネジメント創出のための研究」長崎貴之

戦略的環境経営の推進

環境経営を戦略的に展開し、持続可能な成長を実現する

お客様の輸送ニーズを満たしながら、輸送方法の工夫によりCO2削減に貢献



地球環境保全に資する事業に対して、輸送の領域で貢献



日通グループとして地球環境保全に貢献



経営基盤の強化

競争力を高め、グループ経営を推進する

施策と狙い	具体的取組み
卓越した品質の提供	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 顧客満足の徹底追求 ▶ 高品質な技能の継承
財務体質の強化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 投下資本の効率的運用 ▶ 資金の効率的運用と安定的調達
選択と集中による戦略的投資の実施	<ul style="list-style-type: none"> ▶ M&A及び資本提携による機能強化 ▶ 国内・海外各地のグローバル事業拠点の機能整備
事業別管理に向けた基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 事業・顧客別収支の把握を可能にする経営の可視化の実現 ▶ 事業内容検証プロセスの策定と事業評価制度の確立
グループ経営の一層の強化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各社の特色を活かした事業展開への相互支援 ▶ グループ内経営・営業企画機能の連携
人材の育成と活用	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 多様な人材の活用 ▶ グループ一体となった人材育成体制の構築
グローバルIT基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 長期的IT戦略の構築 ▶ ITガバナンス体制の構築

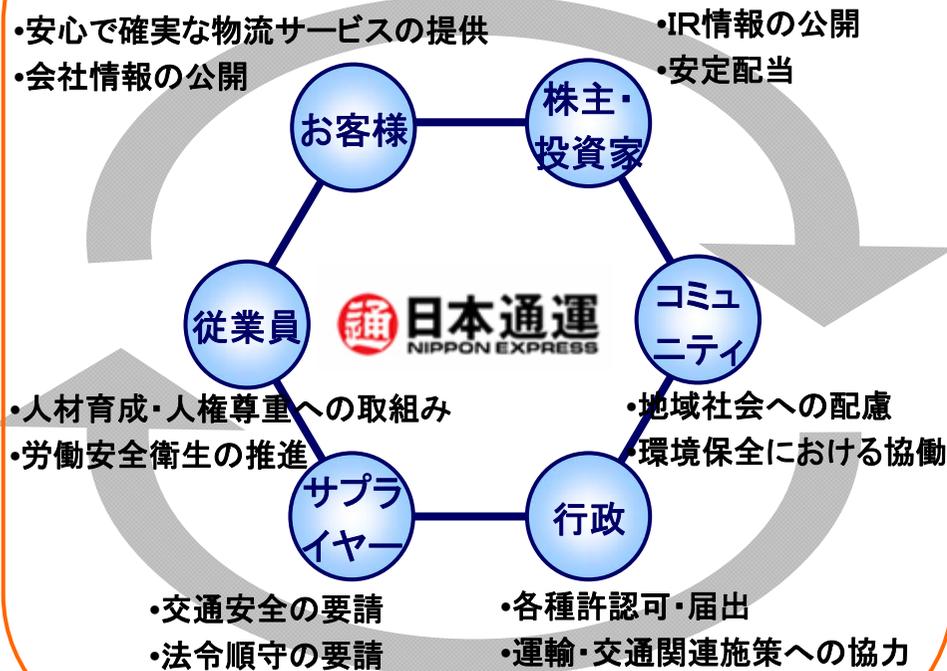
CSR経営の推進

事業活動全般に対するガバナンスを強化し、社会的責任を遂行する

日通グループビジョン

グローバルロジスティクス企業
地球への責任を果たす企業
人にやさしい企業

日通グループCSR全体像



コンプライアンス経営の推進

交通事故・労働災害ゼロへの挑戦

危機管理体制の確立

社会とのコミュニケーションの充実

ワーク・ライフ・バランスの推進

数值目標

2010年3月期見通し

経営基盤強化方針

項目	10/3期目標数値	10/3期見通し
売上高	1兆5,800億円	1兆5,390億円
営業利益	313億円	350億円
経常利益	366億円	330億円
当期純利益	213億円	105億円

経営計画3カ年で目指す成果

売上高・営業利益 増額目標(2010年3月期見通し対比)

項目	売上高	営業利益
個別	2,000億円	170億円
国内子会社	417億円	4億円
海外子会社	889億円	52億円
連結計	2,610億円 (※)	230億円 (※)

(※) 連結消去増加額含

数値目標

財務数値	
項目	2013年3月期 目標数値(連結計)
売上高	1兆8,000億円
営業利益	580億円
当期純利益	350億円
株主資本利益率	7.0%
設備投資額(3カ年計)	1,920億円

環境数値

CO2排出量については、日通グループとして原単位で2009年度を基準に
2012年度までの3年間、年平均1.0%以上の削減を行う



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。

万が一この情報に基づいてこうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。